

中学校理科教育オンライン講座（新） ・ 中学校理科教育講座

本県では、中学生の理数探究心の高揚を図り、高校段階において理系選択が可能な学力と関心が高まるよう、理数教員の授業力のさらなる向上を目指しています。理科教育に係る講座では、今年度より「中学校理科教育オンライン講座」を新設しました。全4回（すべて15時15分から16時45分までの90分）の研修では、短時間でしたが受講者同士が対話を通して授業を構想できる時間を設けました。受講者の感想を紹介します。

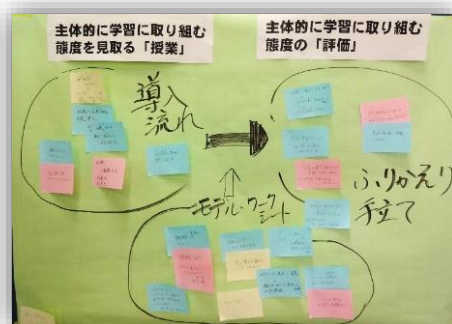
導入は人それぞれで、聞いていて面白かったです。どうしても評価のための授業やテストとなっているので少しずつ改善できるといいなと思いました。

子どもの思考をより働かせるための手立てや方法を、参加した方々と共有することで、資質・能力を育む授業づくりをすることができた。

「中学校理科教育講座」は、「主体的に学習に取り組む態度を見取る理科の授業づくり」をテーマに実施しました。生徒の学びを見取るために、どのような授業を行う必要があるのか、どのように生徒の姿を見取るのかについて語り合いました。受講者の感想を紹介します。

実際の授業を見ることで、どのような工夫をするとよいか、生徒の反応がどのようなものかを確認して授業づくりを行うことができました。また、同じ教科の先生方と疑問点について話し合ったり、同じ課題を共有したりすることができました。今後の授業づくりのアイデアを多く見つけることができました。

「主体的に学習に取り組む態度」を評価する授業、そしてその方法について自分なりに理解することができました。授業での子どもたちの楽しそうに探究する姿が非常に印象に残っています。こんな姿を自分も生み出してあげたいと感じました。また、実際に「主体的に学習に取り組む態度」を見取る授業を設定するなら…と考えたことで、具体的にこんなところで設定しようというビジョンが見えました。



次年度も、生徒の理数探究心が高まる授業の在り方について、先生方と一緒に考えていきたいと思えます。講座への参加をお待ちしています。

小学校道徳教育講座

今年度は「主体的・対話的で深い学び」を実現する道徳の授業づくりのポイント及び評価の在り方についての理解を深め、授業力を高めることを目標として開催しました。

講師に畿央大学教授の島恒生氏を招き、講義と演習を通して、発達の段階や内容の視点を大切にした「考え、議論する道徳」の授業のポイントを教えていただきました。演習では、2つの資料を使って、グループで中心発問を考えたり、中心発問に対する児童の反応を考えたりしました。そして、各グループの代表意見をホワイトボードに全て貼った後に、島先生から指導・助言をいただき、受講者は中心発問を考える際の視点を得ることができました。最後に受講者の日頃の道徳授業の悩みに対して、島先生が具体的に答えていただく時間も設けました。事後アンケートから受講者の満足度が非常に高かったことが窺えました。



～受講者の感想から～

- ・ 中心発問の言葉一つで子どもから引き出したいねらいに近づく意見が導き出せることを改めて知った。めあてや発問をねらいに沿ったものとなるよう吟味したい。
- ・ 普段の声かけから道徳的価値について考え、教育活動全体から道徳教育に取り組むことのイメージを持つことができた。